

図1-4 障害部位、傷病名別休業災害

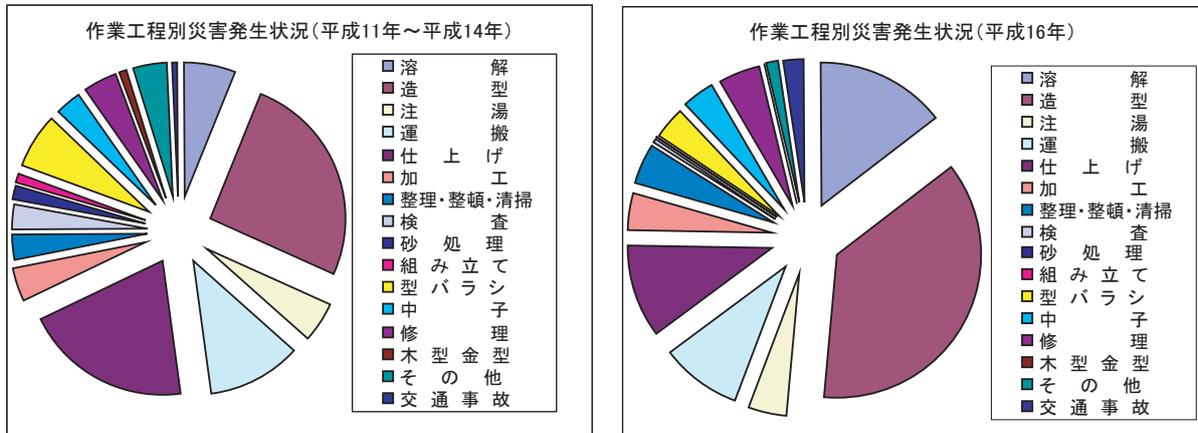


図1-5 作業工程別休業災害発生状況

(資料出所：(社)日本鋳造協会提供の資料により作成)

- ① 障害部位別：上肢部、下腿部での被災が多く、近年の傾向として、これまで少なかった眼部を中心とした頭頸部の被災が増えている傾向にあります。
- ② 傷病名別：骨折が圧倒的で、打撲・火傷がこれに続いています。この3点が今後の課題となります。最近の傾向としてスリ傷やざ減創は減少してきていますが、眼傷が増加傾向にあります。
- ③ 作業工程別：造型、仕上げ、運搬作業での危険性が伺えますが、溶解作業での被災も増える傾向にあります。